

海外での事業展開を支援する拠点事務所を紹介します。

兵庫県ワシントン州事務所 Hyogo Business & Cultural Center

北米最大の商品見本市「NY NOW」出展を県・市が連携して支援

ニューヨークのジェイコブ・ジャヴィッツ・コンベンションセンターでは、毎年夏と冬の2回「NY NOW」と称する北米最大級のデザイン雑貨・日用品の展示会が開催されます。2017年2月4日から8日にかけて開催された「NY NOW2017冬展」へ、神戸シアトルビジネスオフィスとの連携事業として「Hyogo Kobe」ブースを出展しました。同ブースへは、株式会社フェリシモ(神戸市中央区)およびフットドリーム(神戸市兵庫区)の2社と共に出展し、両社の商品をプロモーションしました。

NY NOWは、デザイン雑貨、キッチン用品、テキスタイル、ギフト、キッズ用品、アクセサリ、ハンドメイド品など多種多様な商品が展示されています。会場はカテ



NY NOW 展示会場の様子

ゴリーに応じて分けられ、約2,300社が出展。来場者数は2万5千人から3万人と公表されています。原則バイヤーのみが入場でき、小売店、中小規模チェーン店、Eコマースサイトなどのバイヤーやデザイナーなど、米国内のみならずヨーロッパ、オーストラリア、中国などからの来場者もいます。

「Hyogo Kobe」ブースは、特にデザイン性に優れた商品が集まる「アクセント・オン・デザイン(AOD)」というエリア内の「アクセント・オン・ジャパン(AOJ)」エリアに出展しました。AODはその商品群のレベルの高さからトップバイヤーがまず足を運ぶ格の高いエリアで、その出展には企業と商品自体に対してAOJの審査があります。今回はフェリシモのデザイン積み木とフットドリームの赤ちゃん用靴が審査を通過して、単独でブース申し込みをするよりもかなり良い条件でブースを設置できました。装飾はシンプルながら、



「Hyogo Kobe」ブース

商品が映えるスッキリした印象に仕上げたことで、質の高い商品を求めるバイヤーに足を止めてもらうことができ、商談につながったと考えています。4日間で50人以上と連絡先を交換し、米国の有名美術館の専門ショップのバイヤーからの購入もありました。

今後の課題としては、価格設定を事前によく検討しておくことが重要です。同カテゴリーで売られている商品の価格帯を調べることで、受注後すぐ届けるために神戸から空輸すると高額になる送料をどうするか等です。目途が立てばディストリビューターを確保して、一定量を船積みして送料コストを下げ、米国内で倉庫保管して現地発送できることが望ましい状態です。また、この展示会は商談・受注の場としての要素が強く、ある程度権限を持つバイヤーが来るため、高額な契約以外はその場で注文書にサインして、同時に企業のクレジットカード決済を行います。海外送金や銀行振り込みは敬遠されるため、現地でクレジットカード決済できる状態にしておくことが望ましく、当然その手数料も必要となります。また、支払い時にトラブルにならないよう、送料・関税を事前に価格に反映しておくか、購入時にしっかりと説明する必要があります。

他のブースの方々の話では、このような展示会は、継続して出展することで、バイヤーのニーズ(モノ、値段)や米国のマーケットを理解できるようになるとのこと。



AOJブースエリア(右側)

デザインや品質を価格に見合うものに改善しながら、より良い商品の開発や出品ができるようになり、商談や継続性のあるビジネスにつながるそうです。何回も出展して出会っているとバイヤーとの信頼関係もできてきます。

支援した企業へは今後自身で継続出展してさらなるビジネスの展開をしていただくよう期待するとともに、当事務所としては、このような経験を蓄積し、今後出展する企業への支援に生かしていきたいと考えています。

兵庫県ワシントン州事務所 (Hyogo Business & Cultural Center)

TEL +1-206-728-0610 E-mail office@hyogobcc.org

神戸シアトルビジネスオフィス (Kobe Trade Information Office)

TEL +1-206-622-7640 E-mail info@cityofkobe.org

【県市同室】 1001 4th Ave., Suite 4310, Seattle, WA 98154